

令和 7 年度第 3 回岐阜市市政モニター
「ぎふ C I T Y ウォッチャーズ」
調査結果

テーマ

- ・ 市内経済に関する意識、実態調査について
- ・ 環境に関する意識調査について

目次

- 1 調査目的
- 2 調査期間
- 3 調査項目
- 4 回答者属性
- 5 結果の概要
- 6 項目別の結果
- 7 今後に向けて

お問い合わせ先

- ・ 市内経済に関する意識、実態調査について…経済政策課
TEL：058-265-3896／MAIL：keizai-sei@city.gifu.gifu.jp
- ・ 環境に関する意識調査について…環境政策課
TEL：058-214-2175／MAIL：kankyo-sei@city.gifu.gifu.jp

1 調査目的

- ・ 市内経済に関する意識、実態調査について
 - ① 市内経済に関する意識や実態を把握するために調査を実施。
 - ② ①の結果を参考に、来年度のビジョン策定及び今後の施策の一助とする。
- ・ 環境に関する意識調査について
 - ① 市民の皆様の環境に対する意識や行動等について把握するために調査を実施。
 - ② ①の結果を参考に、市の環境政策における指標の進捗を測定するとともに今後の取り組みの参考とする。

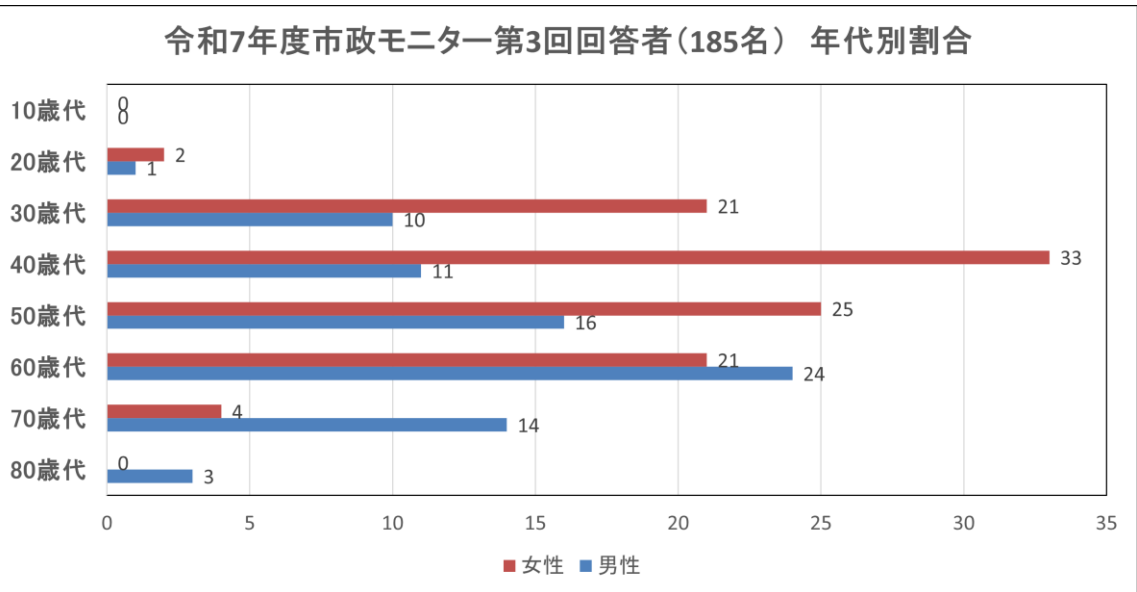
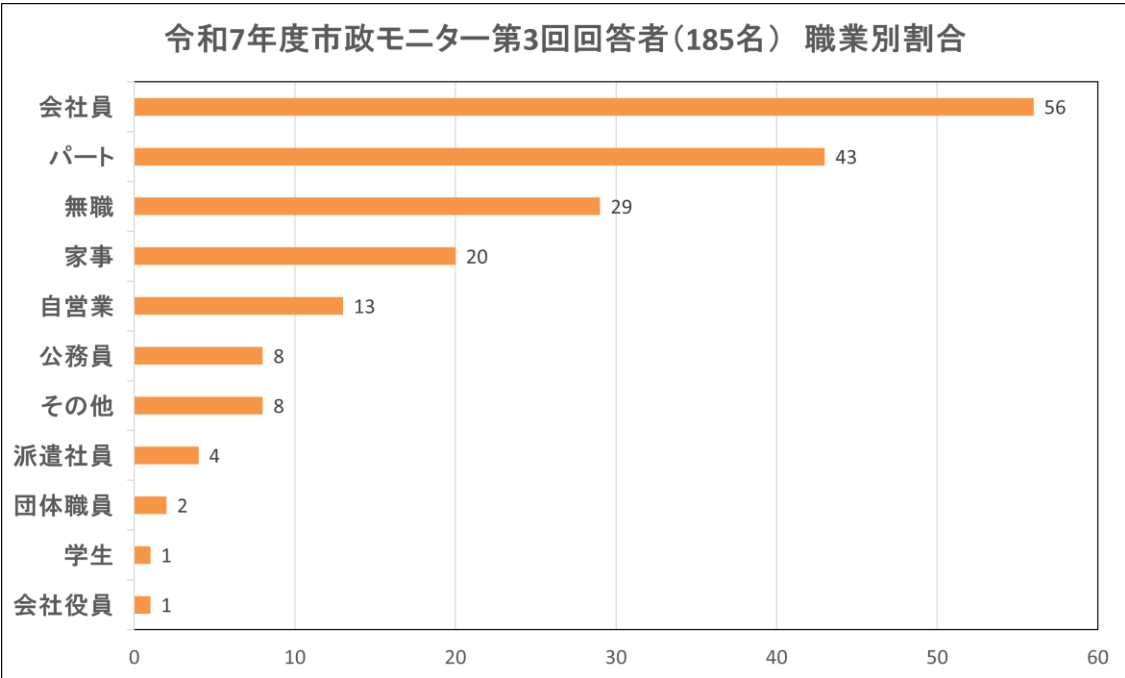
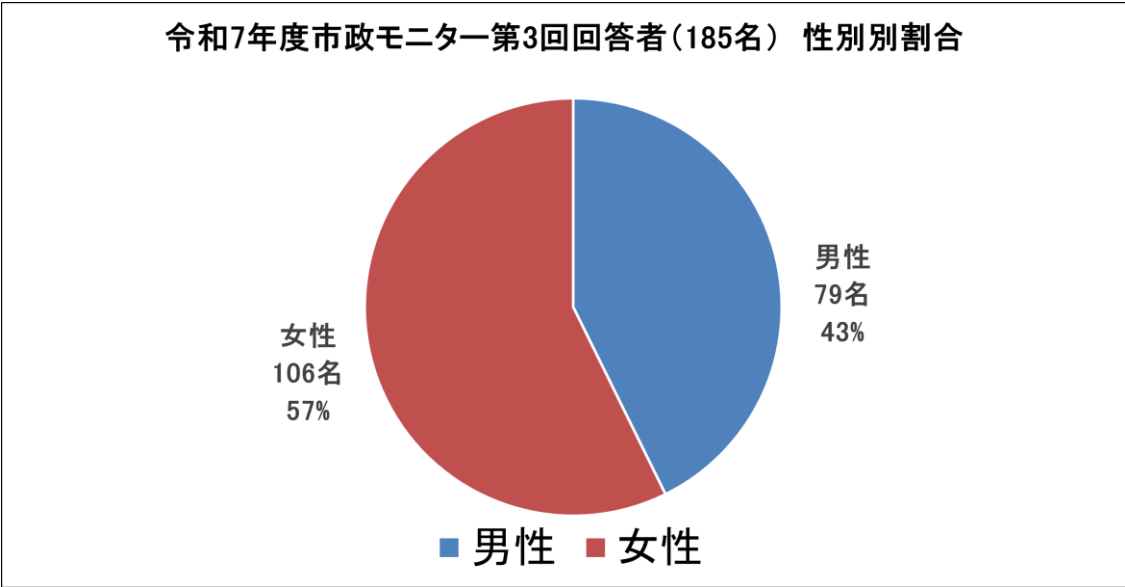
2 調査期間

令和7年9月10日(水)～9月24日(水)

3 調査項目

- ・ 市内経済に関する意識、実態調査について（問1～問11）
- ・ 環境に関する意識調査について（問1～問6）

4 回答者属性



5 結果の概要

- ・市内経済に関する意識、実態調査について（問 1～問 11）

多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

農業分野について、「**質問 3. 農地の存続について思うことは何ですか。**」の問いに対し、「岐阜市内全ての農地の存続を望む」と回答した方は、全体の 52%という結果となりました。「**質問 4. 市街地（住宅地）にある農地を維持することについて、どのようにお考えですか。**」の問いに対しては、「市街地（住宅地）の農地は必要」と回答した方が 50%であった一方で、「市街地（住宅地）に農地は必要ない」と回答した方は 19%でした。また、「**質問 2. 物価高を感じる項目は何ですか。**」の問いに対し、最も回答が多かったのは「食料品」で、回答率は 93%という結果となり、「**質問 6. あなたは農業に対してどんなイメージをお持ちですか。**」の問いに対しては、「食料を生産する重要な産業なので、今後も守っていく必要があると思う」「農作業は重労働で大変な感じがする」の回答率がそれぞれ 89%、74%と特に高い割合でした。

上記の結果から、農業分野について、身近な暮らしを支える「食料」を生産する農業を消費者は重要視しており、農地の存続や維持に対する期待が高いことがうかがえます。

産業分野について、「**質問 9-1. ベストプラクティスを実践する企業において働きたい（人に就労を勧めたい）と思いますか。**」の問いに対し、「強く思う」「少し思う」と回答した方は、全体の 57%という結果となりました。また、「**質問 10. 岐阜市が「就労環境に恵まれているまち」となるにはどんなことが必要ですか。**」という問いに対しては、「就労できる会社が多い（就労機会がある）」「多様な働き方ができる（在宅勤務など）」の回答率がそれぞれ 59%、58%と高い割合でした。多様な働き方ができる環境が望まれている中で、「**質問 11. コロナ禍により普及した働き方のうち、現在のあなたや、あなたの周りの方の働き方で一番大きく変化したと感じることは何ですか。**」の問いには、「テレワークの導入」「打ち合わせのオンライン化」がそれぞれ全体の 26%、25%という結果となりました。

上記の結果から、産業分野について、多様な人材が活躍するには、「就労機会の拡大」と「柔軟な働き方の実現」が両立されたまちが強く求められており、就労環境の整備が本市の魅力を左右する重要な要素として位置づけられると考えます。

これらの結果から、昨今の変化する経済情勢に適応した、農業、産業及びそれらが連携した施策を推進していくことが重要であると考えております。

多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

「質問 2. 身近な生活の中で、地球温暖化対策に役立つ行動（例：節電・節水）に取り組んでいますか。」の問いに対し、「いつも取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答された割合は全体の 83%という結果になりました。そのうち 88%が「節電・節水」に、50%が「省エネ製品の購入」に、それぞれ取り組んでおり、相当数の方が身近な取り組みを意識して行っていることがわかりました。

また、「**質問 3. 雑がみの分別や生ごみの減量、マイバックの利用など、ごみ減量に取り組んでいますか。**」の問いに対し、「いつも取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答された割合は全体の 93%と非常に高い結果になりました。そのうち 92%が「プラスチック製容器包装の分別」に、90%が「マイボトル・マイバックの利用」に、75%が「雑がみの分別」に、61%が「資源分別回収への参加」に、それぞれ取り組んでおり、ごみ減量の活動が浸透していることがわかりました。

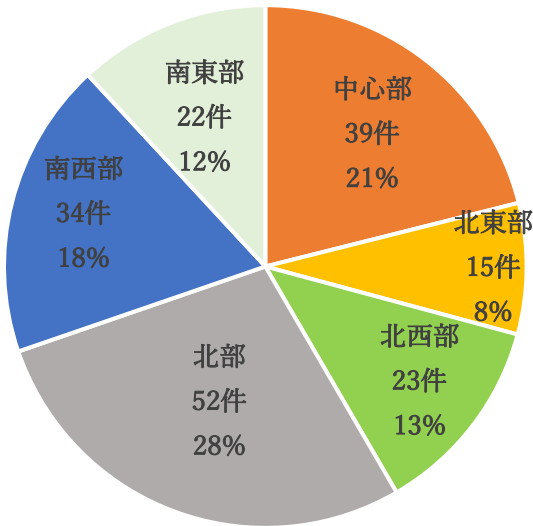
しかし、「**質問 4. 河川の清掃や植樹活動への参加など、自然を守る取り組みをしていますか。**」の問いに対し、「している」または「ときどきしている」と回答された割合は全体の 20%、「**質問 5. 環境学習（環境教育）をしていますか（しましたか）。**」の問いに対し、「している」または「ときどきしている」と回答された割合は全体の 23%に留まり、先の 2 つに比べて、取り組みがあまり身近ではないと推測されます。

この結果から、今後は、この 2 点について特に力を入れ、周知及び啓発を測っていくことが必要であると考えております。

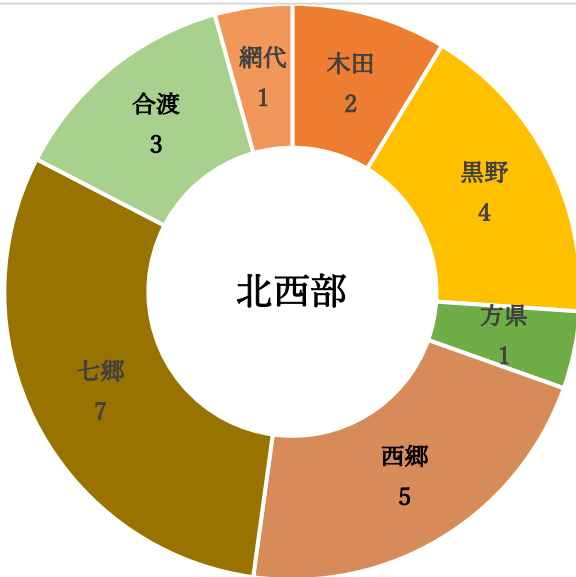
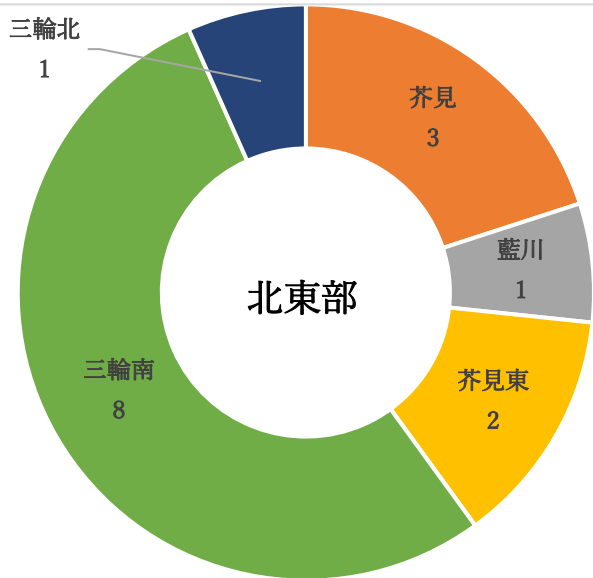
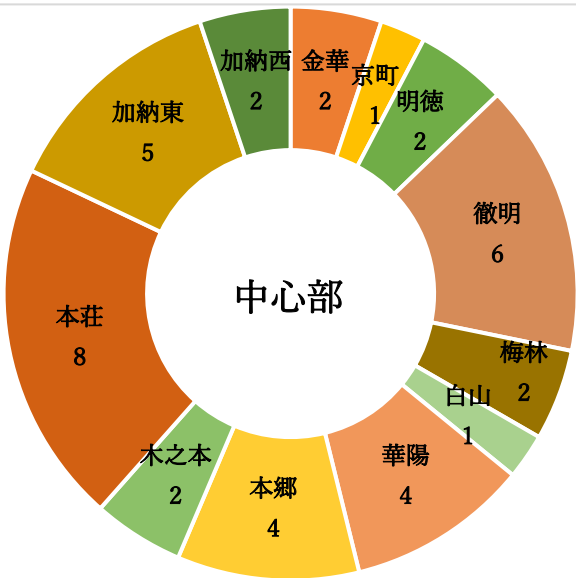
6 項目別の結果

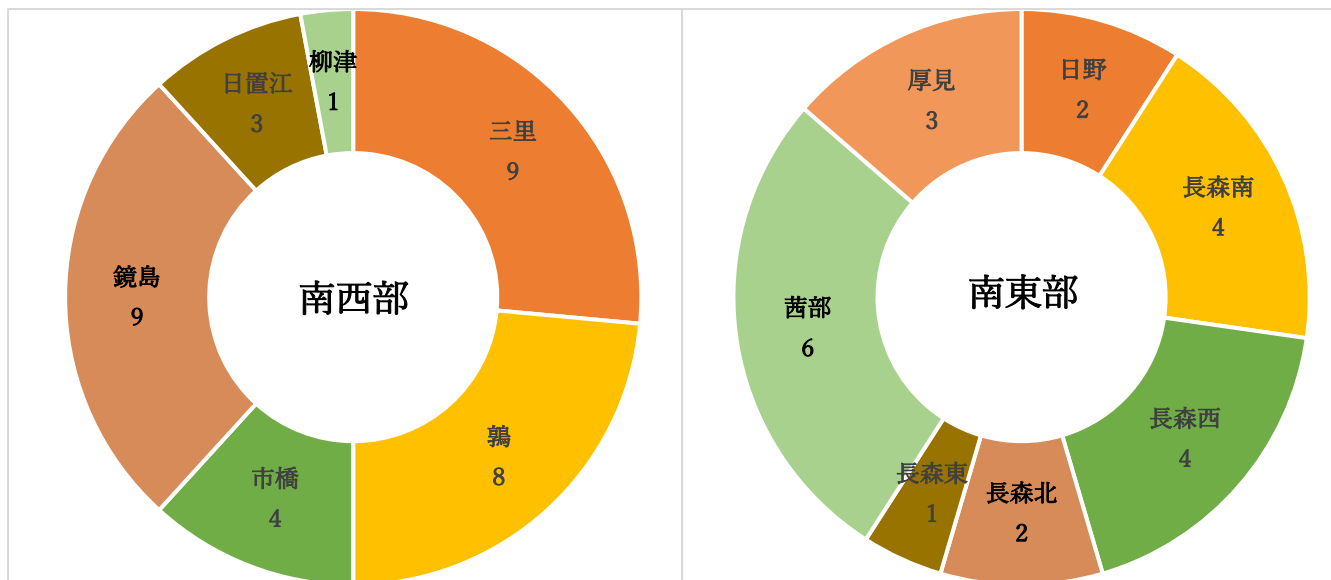
◎ 市内経済に関する意識、実態調査 について（質問 1～質問 11）

質問 1. あなたのお住まいの地区（実際に生活されている地区）はどちらですか。



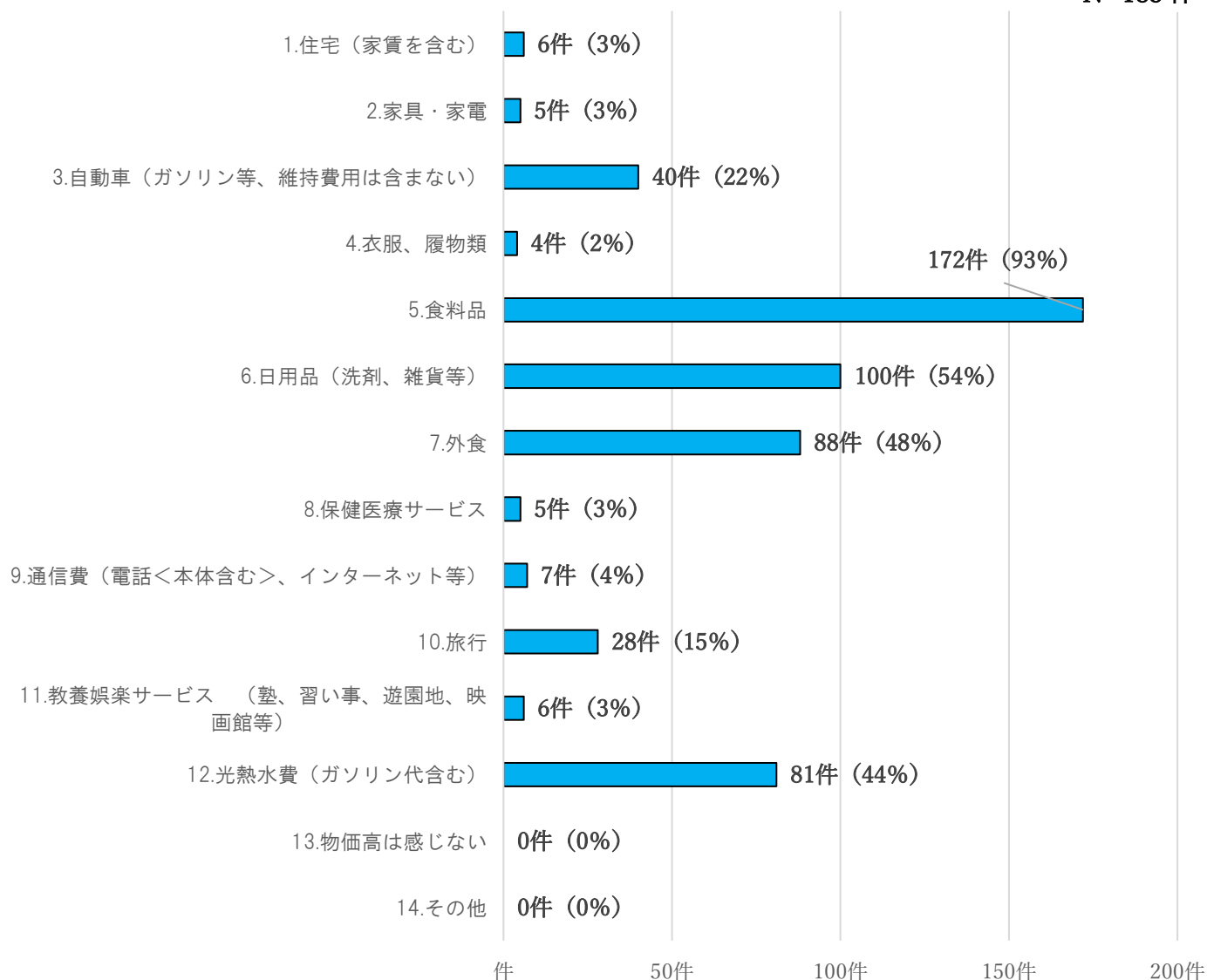
- 中心部（金華、京町、明德、徹明、梅林、白山、華陽、本郷、木之本、本荘、加納東、加納西）
- 北東部（岩、芥見、藍川、芥見東、芥見南、三輪南、三輪北）
- 北西部（木田、黒野、方県、西郷、七郷、合渡、網代）
- 北部（長良西、長良東、長良、島、早田、城西、鷺山、則武、常磐、岩野田、岩野田北）
- 南西部（三里、鶉、市橋、鏡島、日置江、柳津）
- 南東部（日野、長森南、長森西、長森北、長森東、茜部、厚見）



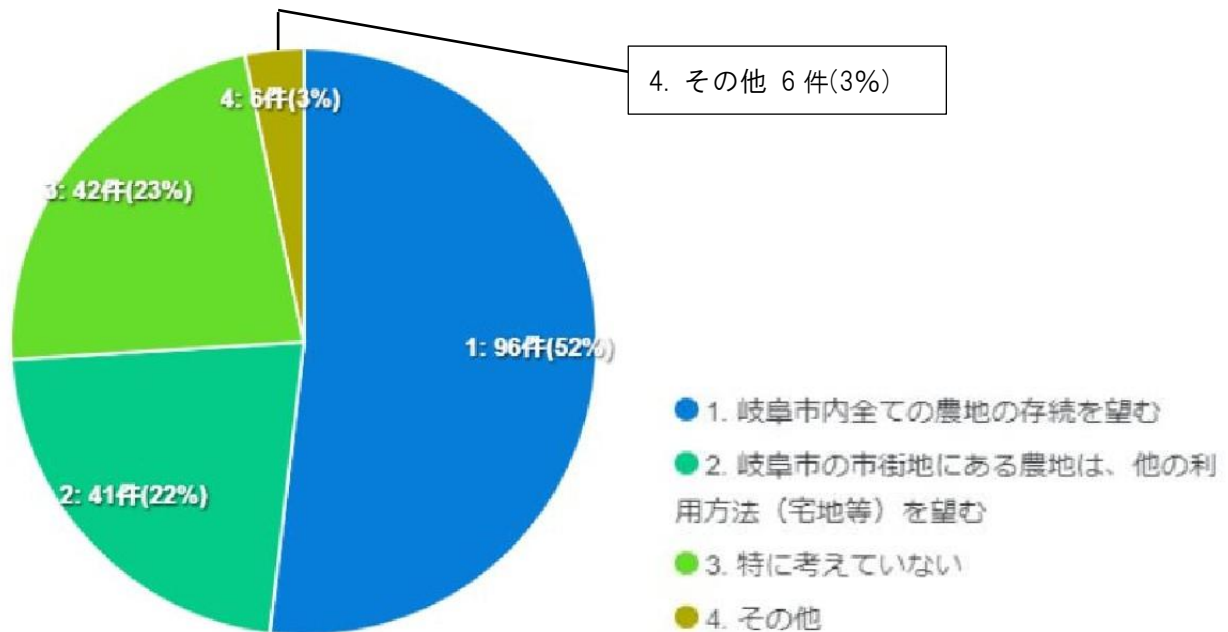


質問2. 物価高を感じる項目は何ですか。(最大3つまで)

N=185 件



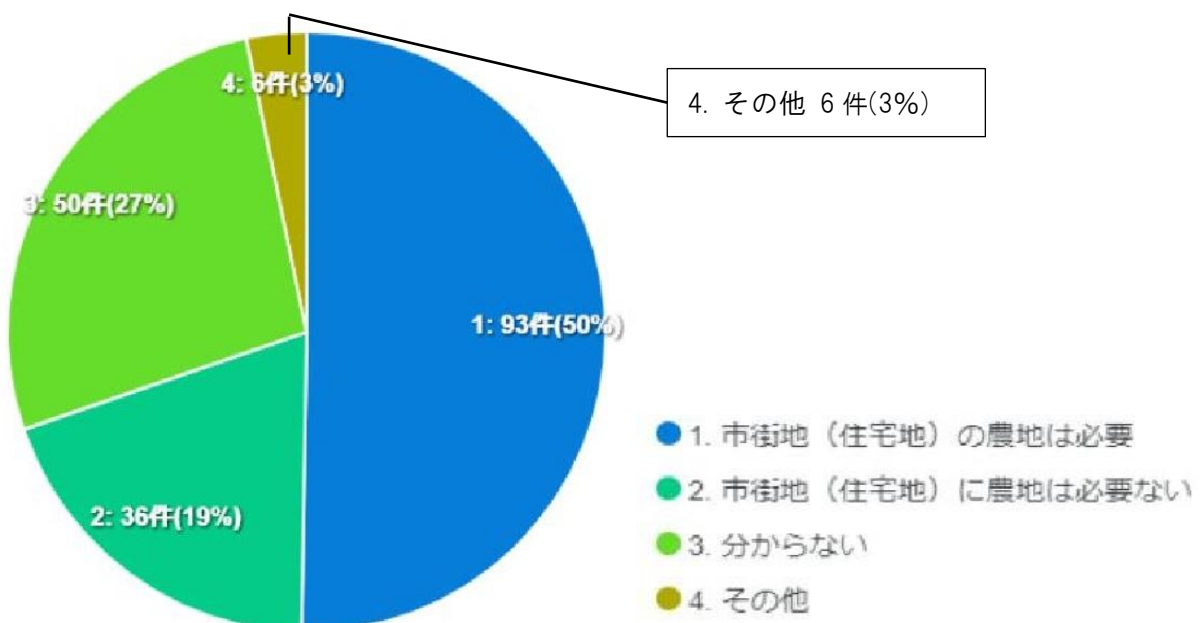
質問 3. 農地の存続について思うことは何ですか。



■その他（抜粋）

- ・農地はなるべく多くあった方が良いが、効率の悪いところは無理に維持する必要はない。
- ・コメ価格が必ずしも岐阜市内の農地とリンクするわけではないから。
- ・農地を活用、管理できる人がいるのならば、農地の存続を望む。
- ・後継者がいない農地は市街化調整区域、農振法を除外してほしい。
- ・市街化調整区域は岐阜市からは無くすべき。さもないともう少し農家が継続したいと思うようなインフラの改修の支援など最低限の支援はするべき。

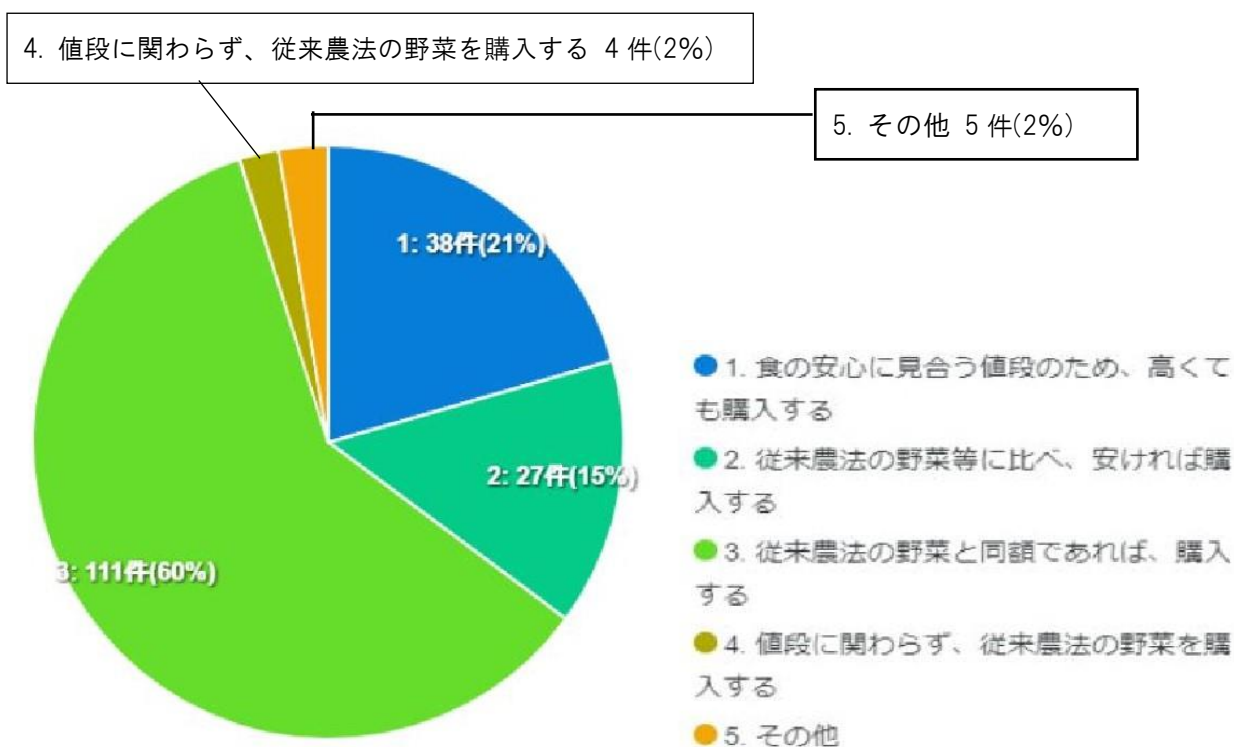
質問 4. 市街地（住宅地）にある農地を維持することについて、どのようにお考えですか。



■その他（抜粋）

- ・農地の必要性は理解できる一方、実際に市街地での宅地探しに苦労している現状があるため、悩みどころである。合わせて、市街地の農地は近隣の住宅との距離が近い印象があるため、虫や農薬散布や害獣等の近隣住民への影響が懸念される。
- ・岐阜は食糧自給率が低いので上げていくべき。農地も必要だが、効率よく無駄なく消費を促進する街づくりも必要だし、住民を増やすことも大事。農地の維持に関しては、若者に働く機会を与えたり、AIやロボティクスの活用などを促したりする方向を模索してほしい。

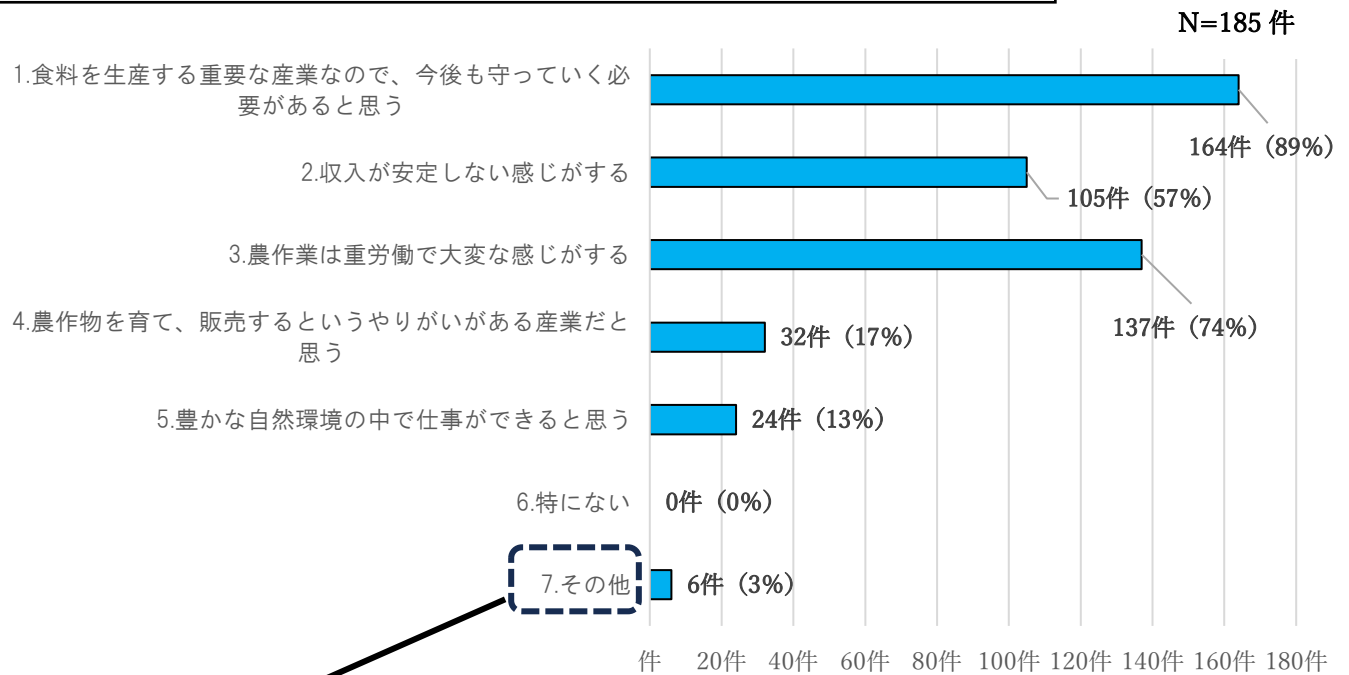
質問5. 有機農業、無農薬農業、減農薬農業の野菜等の購買意欲についてどのようにお考えですか。



■その他（抜粋）

- ・その時の経済状況や農薬に感ずる知識によって買うか決める。
- ・従来農法の野菜と比べて金額の差を見て、納得できれば、少しでも良いオーガニックの野菜を購入したい。
- ・特に農法に拘らない。地産地消、国産、値段を加味して選ぶ。
- ・ルールに則った生産をしていれば許せるが、逸脱して有機農業と発信している農家は信用ならない。

質問6. あなたは農業に対してどんなイメージをお持ちですか。(最大3つまで)

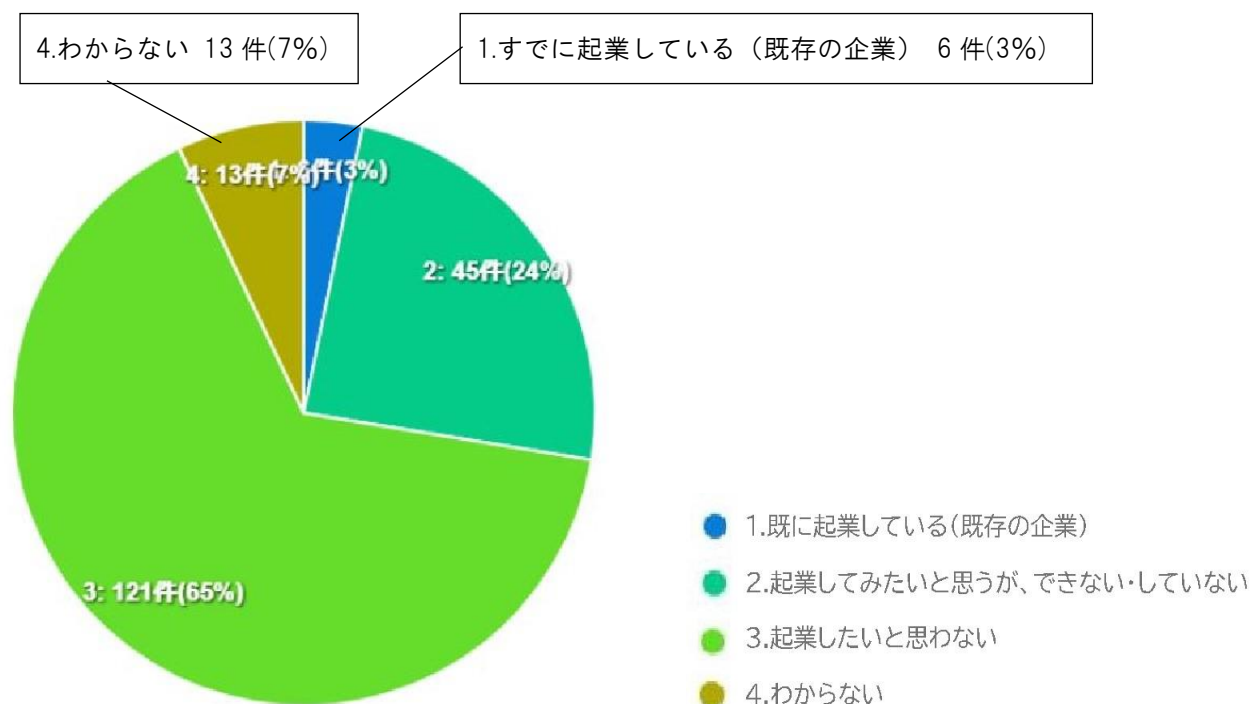


■その他（抜粋）

- ・国や自治体、全農の保守的な政策により、ビジネスとしての視点やDX化が遅れている。
- ・なくてはならない産業。国内自給率をもっとあげたい。国から保護されている部分も多い。
- ・最も大切な「食」を担ってくれるので助かります。生産者がいないと本当に困ります。
- ・自給自足用の農業以外は、市街地での農業は十分な収入を得るには小規模過ぎると思われ、将来の存続が懸念される。

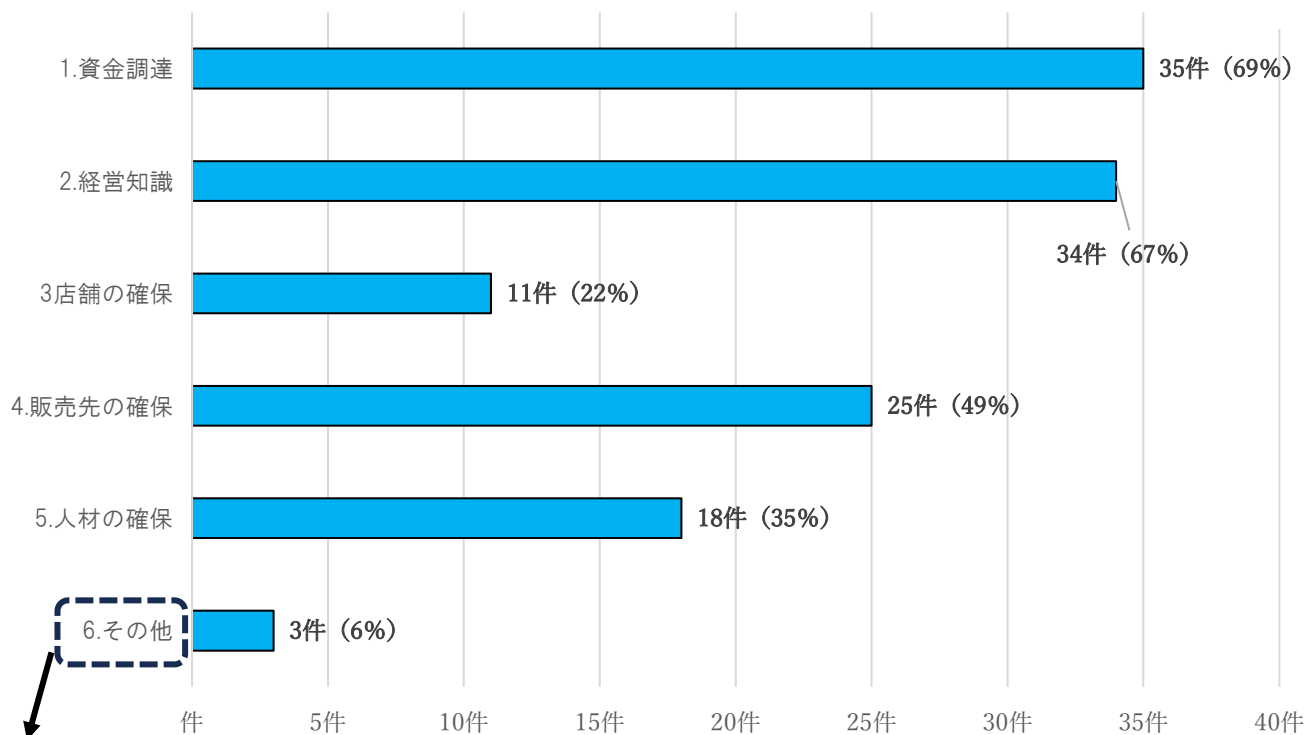
質問7-1. スタートアップ※を含め、起業してみたいと思いますか。

※スタートアップとは、「革新的なアイデアで短期的に成長する企業」を指します。



質問 7-2. 起業にあたり、どのようなことをハードル（課題）と感じました（感じます）か。（複数回答可）

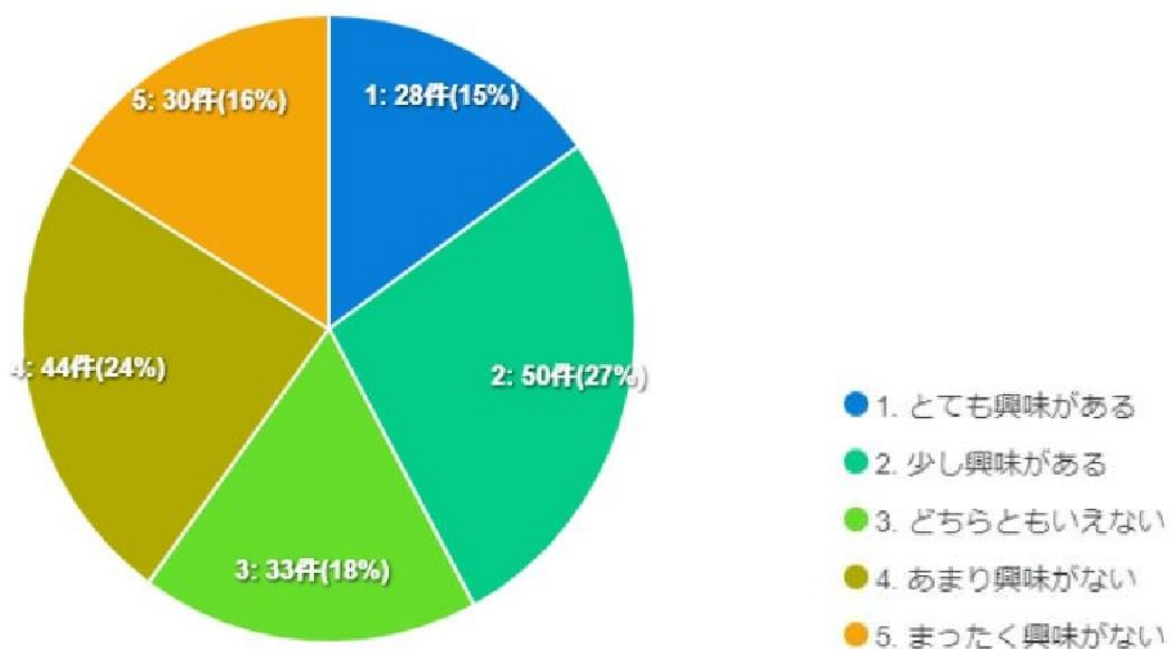
N=51 件



■その他

- ・年齢や体力、気力、アイデアなど個人的な課題
- ・現在との仕事とのバランス
- ・自分の年齢が高いので、今はもう無理。ただ、新しいことにチャレンジはしたいと思っている。

質問 8-1. 中心市街地における出店や新規事業創出などについて興味がありますか。



質問 8-2. 質問 8-1. で回答した理由があれば、ご記入ください。（任意）

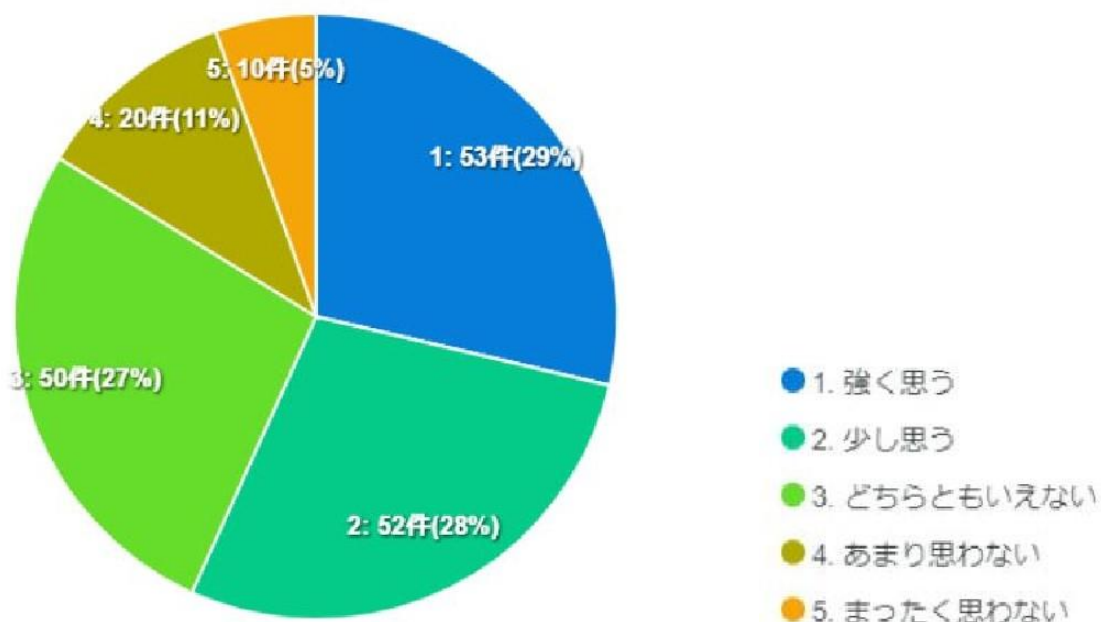
<「とても興味がある」「少し興味がある」と回答した方（抜粋）>

- ・岐阜市の中心地である柳ヶ瀬には賑わってほしい。
- ・いち消費者としてイベントに参加し、活性化に少しでも貢献したいから。
市を挙げて、「車を捨てて歩こう DAY」などをつくり、その日はバス代を無料にするなど、大型の駐車場のない中心部に人があるまるようなライフスタイルを作る工夫をすると良いと思う。
- ・活気有る街にしたい。昔の柳ヶ瀬を取り戻したい。
- ・興味はあるが、知識や能力不足で、自分には難しいので、引っ張ってくれる人があれば頑張りたい気持ちもします。
- ・中心市街地を再度盛り上げたいという思いがあるため。
- ・柳ヶ瀬に力を入れていると思うので、このタイミング（旧長崎屋の跡地のリニューアルまでに）で何かお店が出来たらいいなと思っている。

<「あまり興味がない」「まったく興味がない」と回答した方（抜粋）>

- ・人混みが苦手。お店やイベントに興味があるものが少ない。
- ・中心市街地の空洞化は以前から問題になっているが、なかなか解決しておらず、今後も画期的な策が見つかるのか疑問だから。
- ・市街地のにぎわいは、あまり長続きせず、昔のような柳ヶ瀬は、無理だと思っているから。
もっと大胆に全く別の活用方法や、活性化を模索すべきだと思う。
- ・市街地のイベントには駐車場の問題もありあまり気が進まない。

質問 9-1. ベストプラクティス※を実践する企業において働きたい（人に就労を勧めたい）と思いますか。
※ベストプラクティスとは、ワークダイバーシティの推進や従業員の働きがいを向上するために実践している各社の最善の方法や最良の事例を指します。



質問9-2. 質問9-1. で回答した理由があれば、ご記入ください。(任意)

<「強く思う」「少し思う」と回答した方(抜粋)>

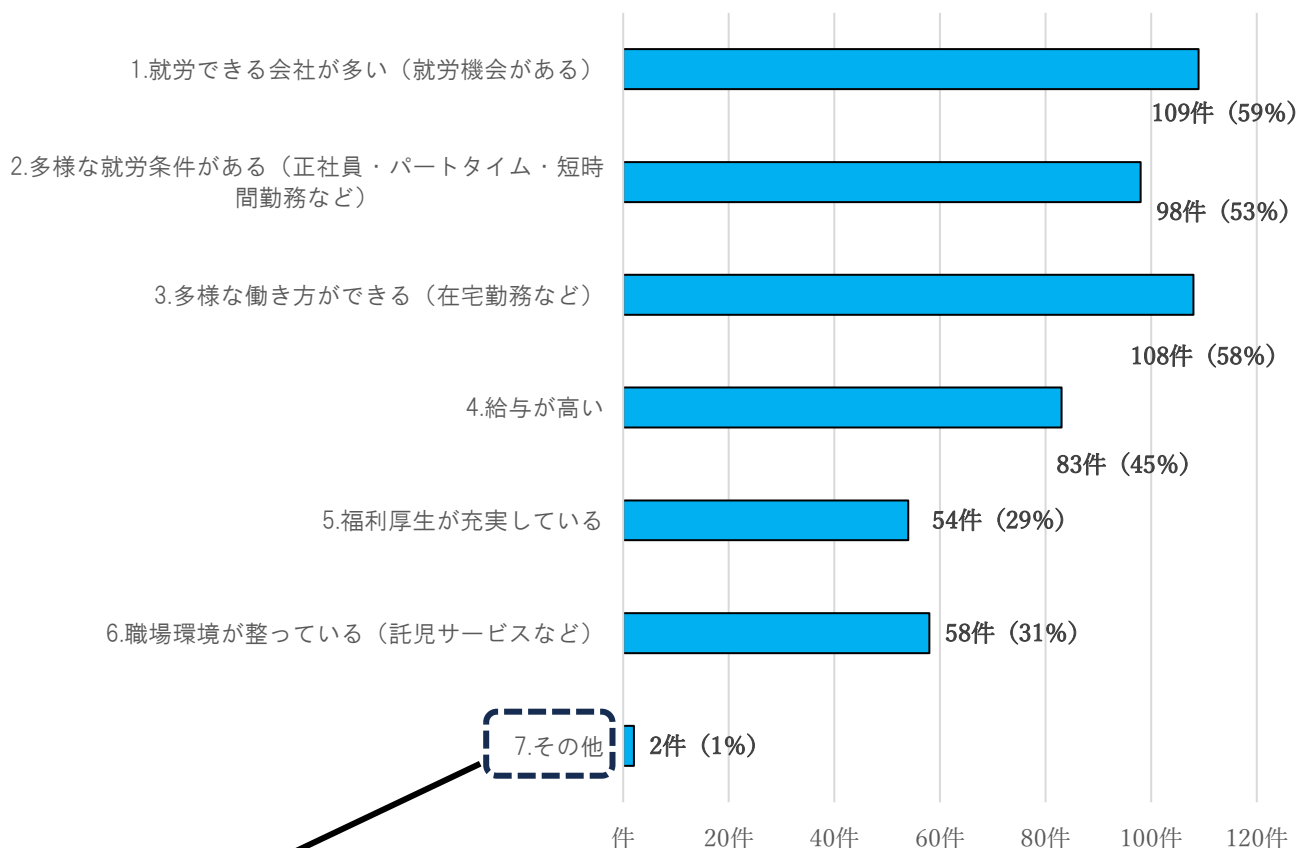
- ・多様な生き方に接して、今後の新たな生き甲斐を見つけたい。
- ・誰しにも多様で柔軟な働き方により全ての人に居場所と出番があった方が良いと思うから。
- ・働くことに喜びを感じられる職場で働きたいと思うから。

<「あまり思わない」「まったく思わない」と回答した方(抜粋)>

- ・高齢化に伴い、思いはあってもできない。
- ・企業のホームページに紹介される、ワークライフバランス、福祉に育児制度などの認定優良企業に働いてみると実情との乖離があるのを実感する。

質問10. 岐阜市が「就労環境に恵まれているまち」となるにはどんなことが必要ですか。(最大3つまで)

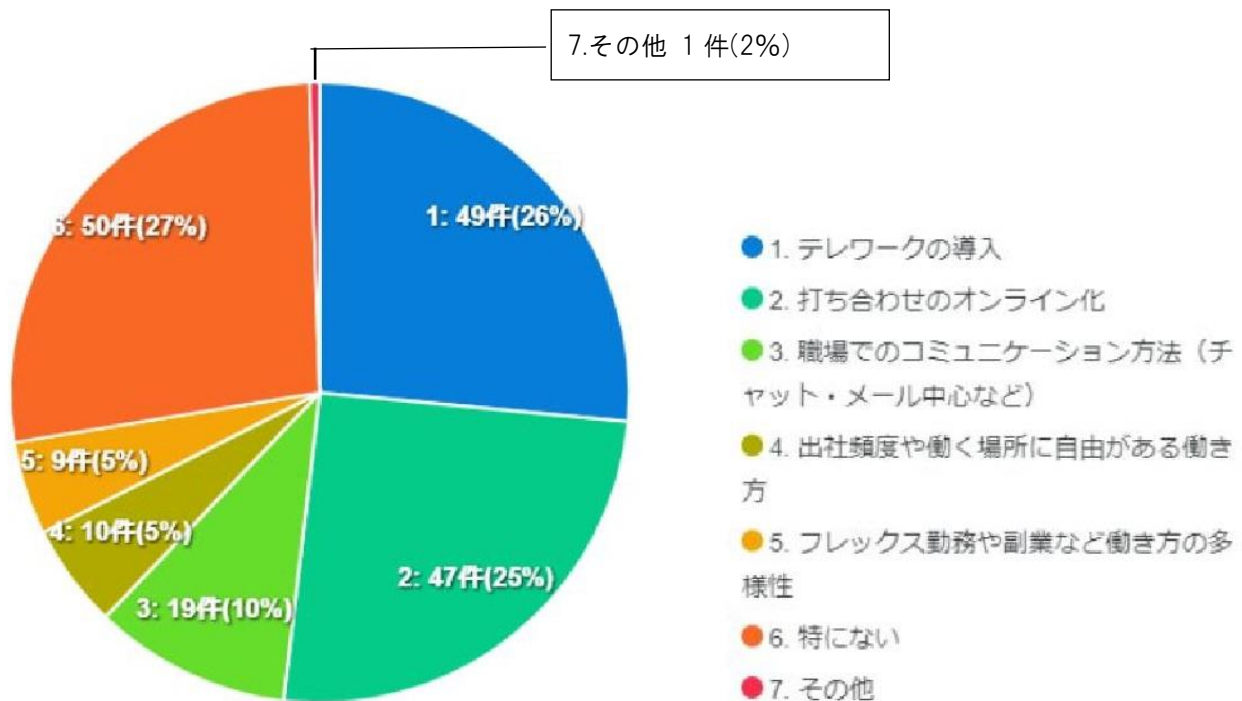
N=185 件



■その他(抜粋)

- ・交通インフラが整っていること。もし車がなければ、雪が降ったらどこへも行けない。バス路線も東西に行くルートがないなど不便。

質問 1 1. コロナ禍により普及した働き方のうち、現在のあなたや、あなたの周りの方の働き方で一番大きく変化したと感じることは何ですか。(1つ選択)

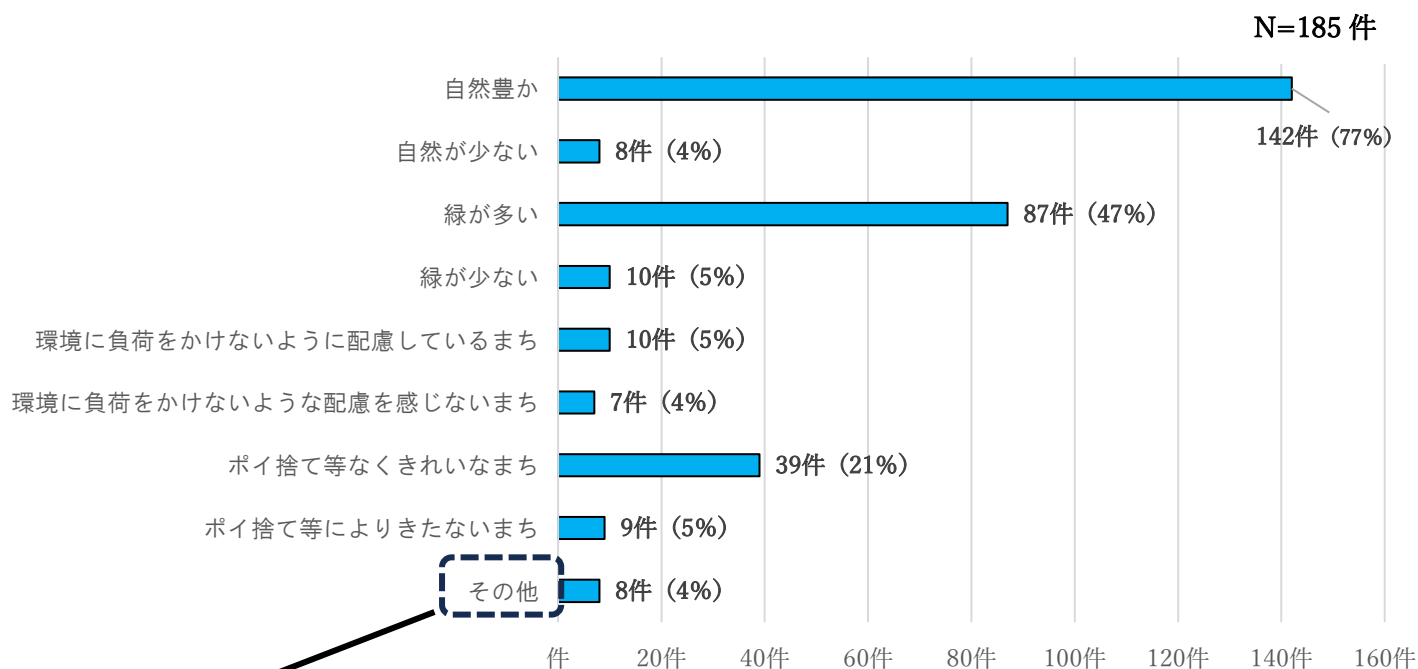


■その他

- ・職場外での付き合い、接待のような飲み会がなくなった。

◎環境に関する意識調査について（質問 1～質問 6）

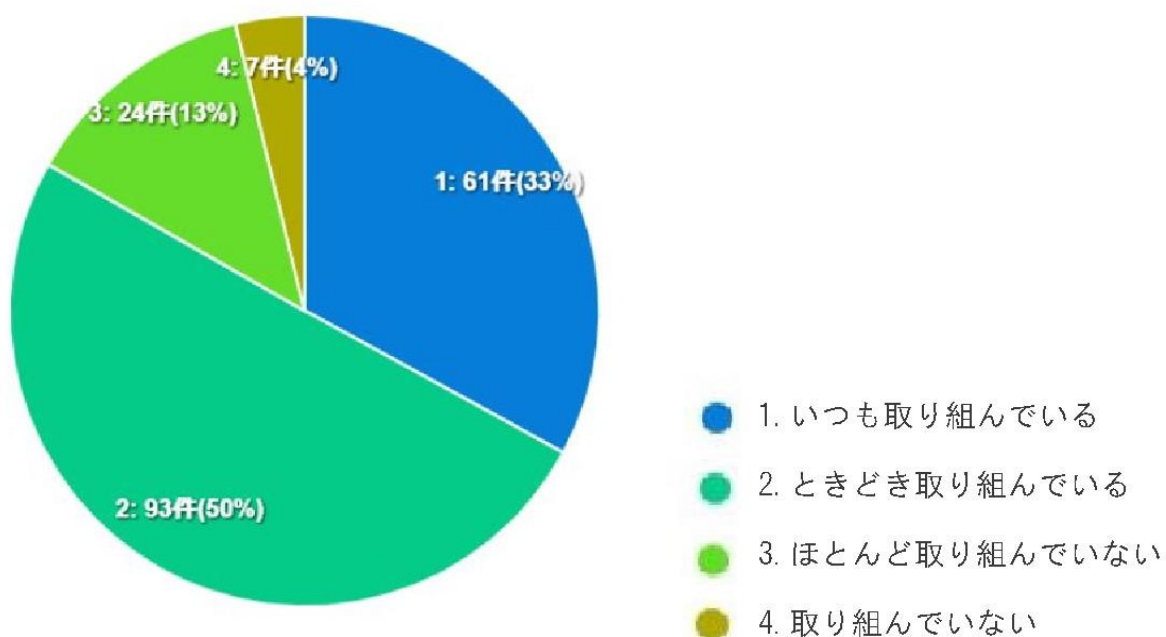
質問 1. 岐阜市の環境について、どんなイメージをお持ちですか。（複数回答可）



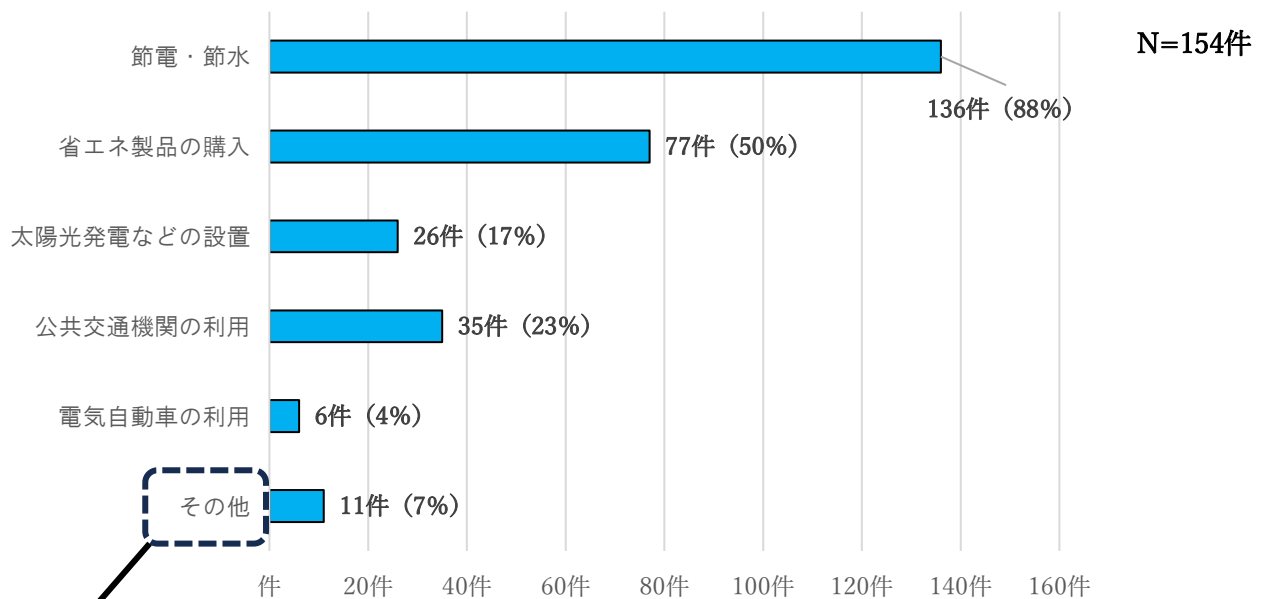
■その他（抜粋）

- ・地域による差が大きい
- ・川が綺麗
- ・車が多い
- ・山や田畑があるところもある、少ないとも多いとも思わない

質問 2. 身近な生活の中で、地球温暖化対策に役立つ行動（例：節電・節水）に取り組んでいますか。



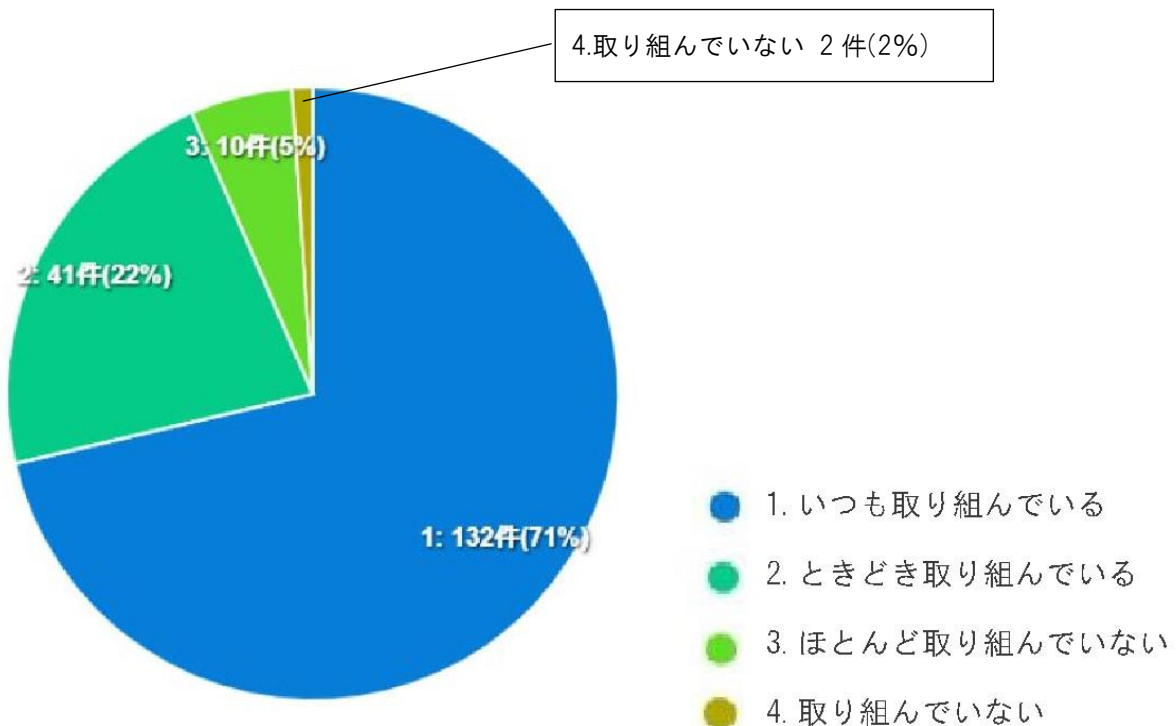
質問2-2. 行っている取り組みを教えてください。〈あてはまるもの全て〉



■その他（抜粋）

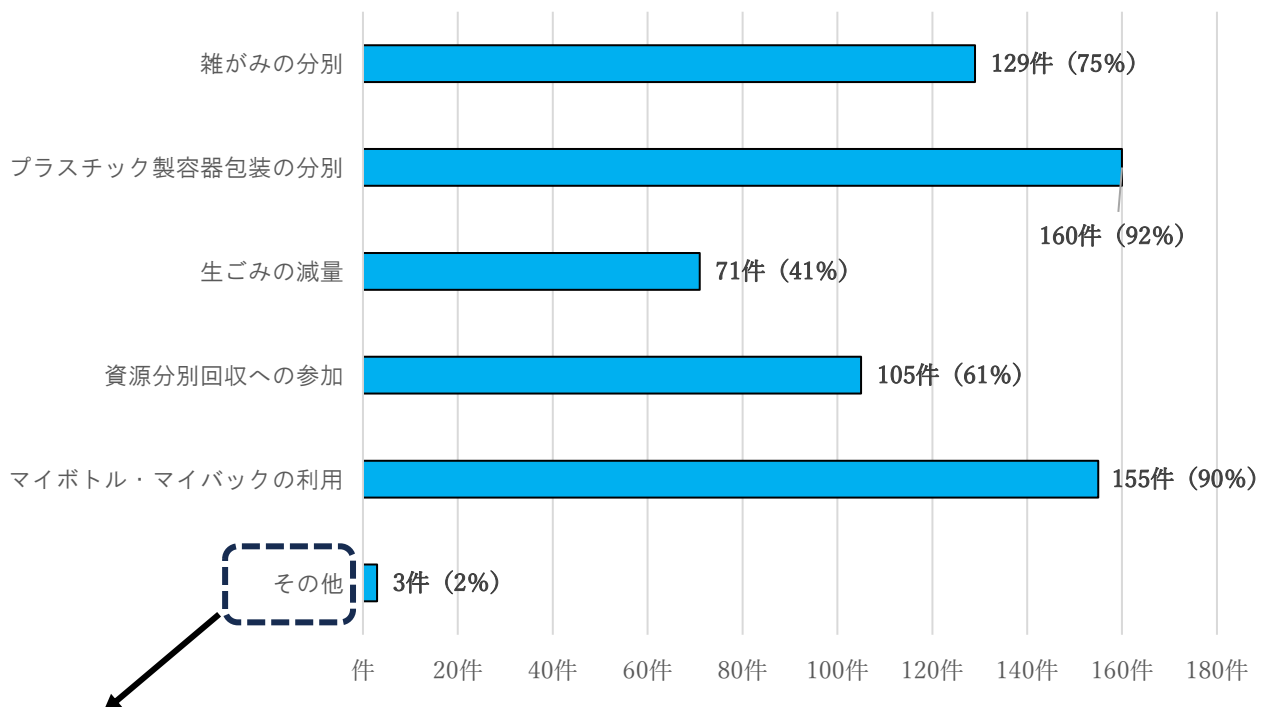
- ・ 自転車の利用（近場への買い物に自動車を使わない）
- ・ ごみの分別
- ・ リサイクル商品の購入
- ・ 太陽熱温水器の利用
- ・ プラ製品は極力買わない

質問3. 雑がみの分別や生ごみの減量、マイバックの利用など、ごみ減量に取り組んでいますか。



質問3-2. 行っている取り組みを教えてください。＜あてはまるもの全て＞

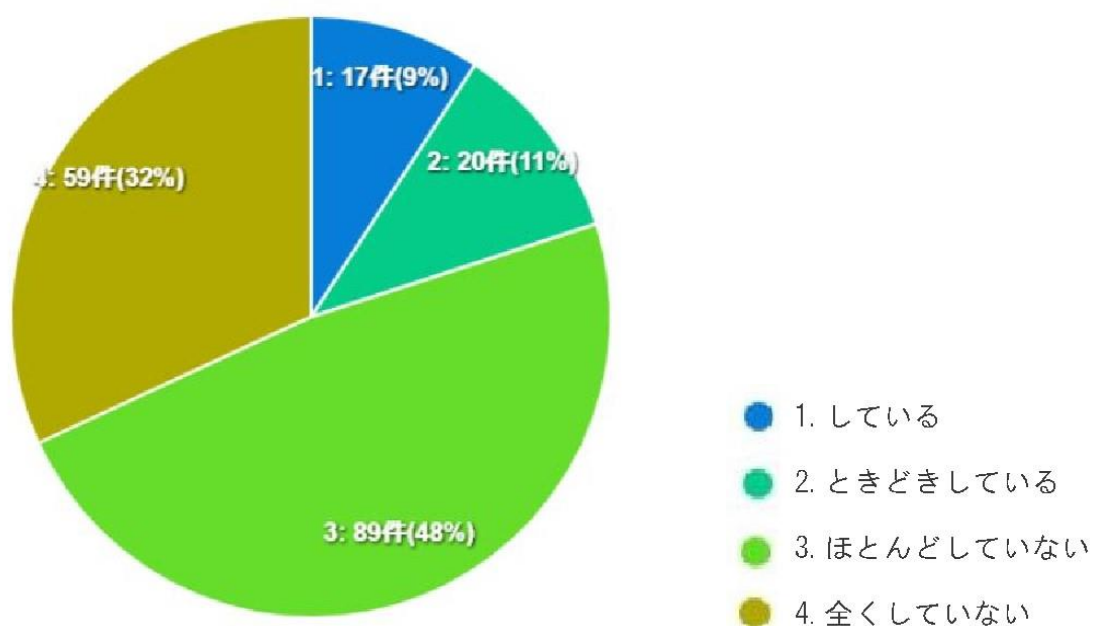
N=173 件



■その他（抜粋）

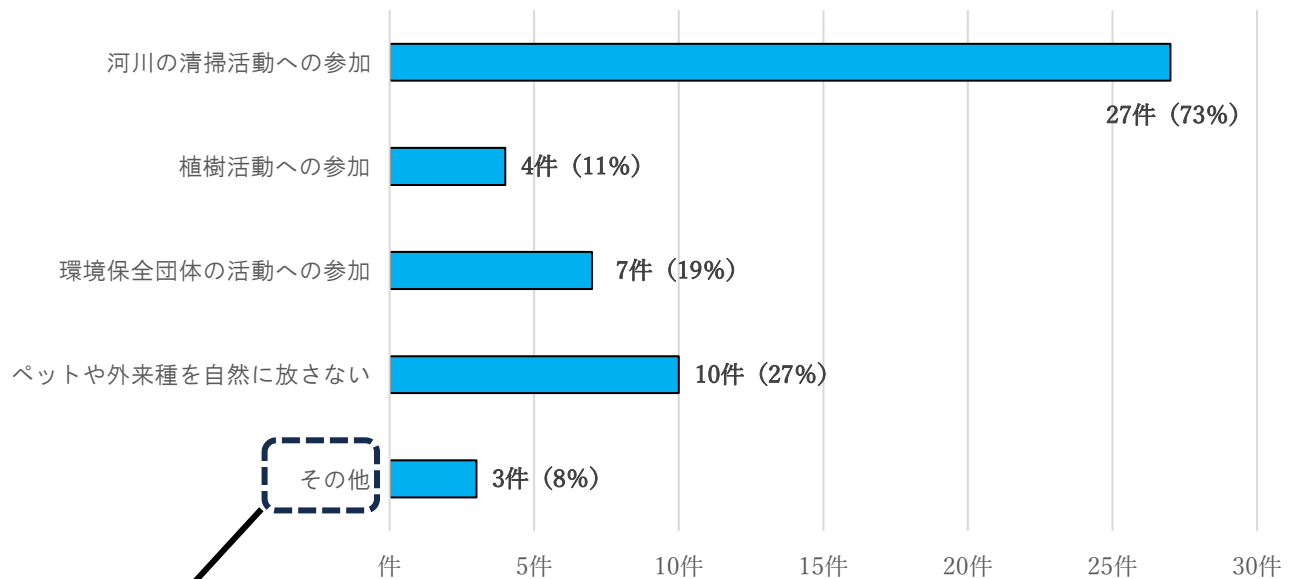
- ・必要以上に物を買わない
- ・まだ使えるが不要なものはリサイクルショップ等に出す

質問4. 河川の清掃や植樹活動への参加など、自然を守る取り組みをしていますか。



質問4-2. 行っている取り組みを教えてください。〈あてはまるもの全て〉

N=37 件

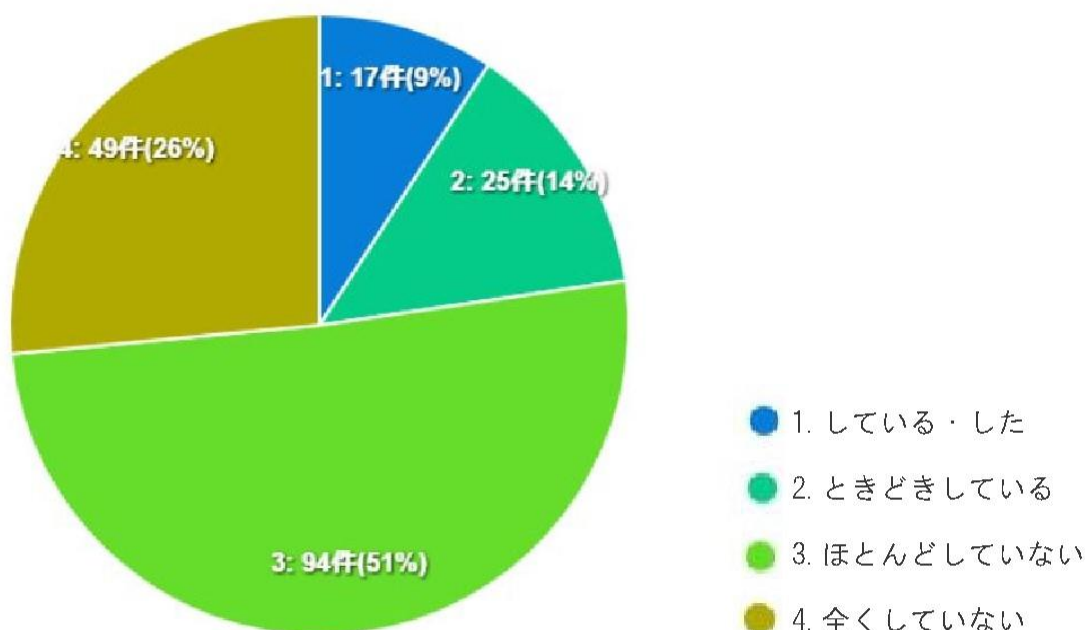


■その他（抜粋）

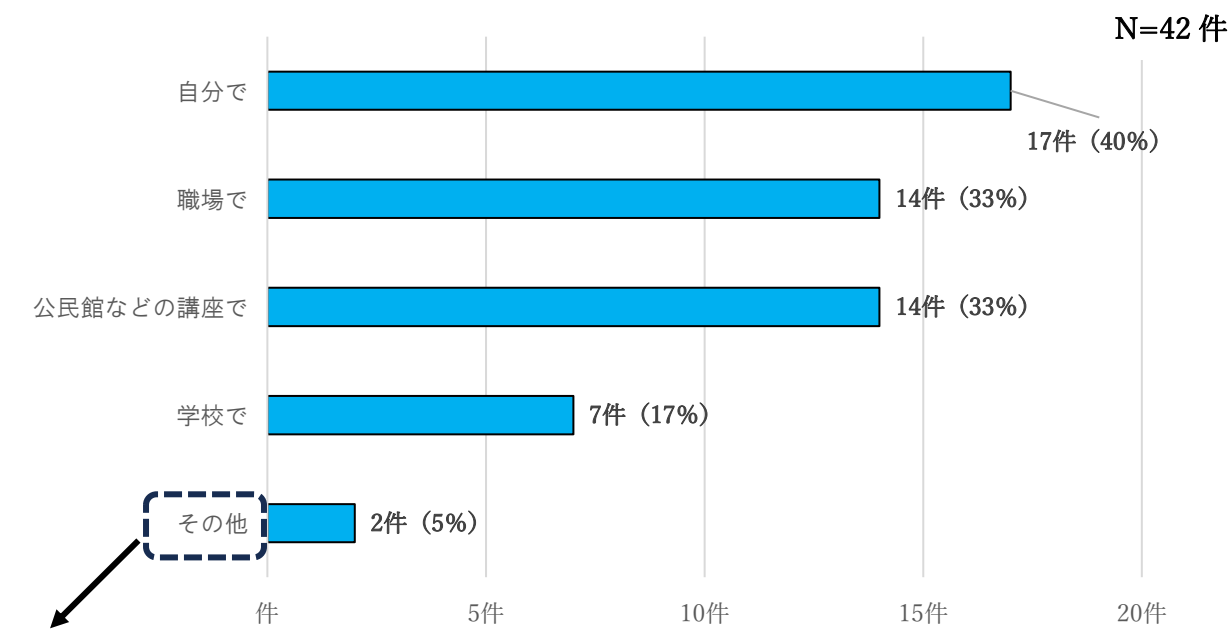
- ・地域の清掃活動などに参加
- ・行った先での美化活動

質問5. 環境学習（環境教育）※ をしていますか（しましたか）。

※環境学習（環境教育）とは家庭・学校・職場・地域などで、環境と社会のつながりや、環境の保全について理解を深める学習や教育を指します。



質問5-2. どこで環境学習をしていますか（しましたか）。＜あてはまるもの全て＞



■その他

- ・ イベントで
- ・ 図書館、インターネットで

質問6. 岐阜市の【環境への取り組み】に対する思いなど、自由にお書きください。（任意）

※抜粋※

【環境教育】

- ・ 小中学校で、SDGs を含めた岐阜市の環境問題の活動（授業）があるのは良い。学校で習ったことを、家へ持ち帰り、家族で話し合うきっかけになっている。
- ・ 頻繁に起きる自然災害を見ると、地球環境の事を自分のことのように感じる。一人一人の取り組みが大きな力になると思う。学校教育の中で取り入れてもらいたい。具体化していくことが参加しやすいと思う。
- ・ コンポストについての話を小学校で子供が聞いてきたが、話と紙面だけでは良さが子供に伝わらないと思うので、学校で作ってみるような体験があると、各家庭でも環境について考えるようになるのではないかな。

【河川】

- ・ 河川のごみ拾いやその他環境に関するイベント等の実施日程など、事前にチラシなどで知らせてもらえば参加者も増えるのでは。
- ・ 河川敷のポイ捨てが目立つ。ポイ捨てをさせないよう対策をとってほしい。ごみ拾いや資源分別に参加した人にポイント付与するような取り組みはどうか。
- ・ 岐阜市には河川環境を守る意識（長良川だけではない）も持って頂きたい。

【太陽光】

- ・従前より太陽光発電の導入にあたっては、補助金制度を取り入れていると思うが、その成果をアピールして欲しい。
- ・太陽光パネルが増えていることがとても心配。設置時の環境破壊や撤去後の処理方法が未定なことや、その後に農地は安全に再利用できるのかなど気になる。

【ごみ処理有料化】

- ・ようやく始まる、という思いが強い。
- ・環境のためといいつつ、有料化するのは違う気がする。
- ・市民の負担を十分に汲んで今以上の環境政策を推し進めてほしい。
- ・不法投棄の原因となる可能性が高いと思う。そのためにも、ある程度の年収世帯への有料ごみ袋の配布も検討していただきたい。
- ・市民がムダに購入しないで、あるものを長く大切に使う意識を高めるようになると良い。

【ごみ収集】

- ・プラスチックの分別やビン缶の分別等は皆さんに浸透していると思う。
- ・缶ビンペットボトルを毎週回収だが、1ヶ月に1回でいいと思う。
- ・プラスチック製容器包装回収日に向けて、汚れた容器を洗って出している。その排水や拭いた紙は本当に環境の為になるのか。ジレンマです。
- ・燃えるごみで捨てるしかない陶器のリサイクル。小型家電のリサイクルは良いが、それに付属する電源コード類にも金属が含まれているので、一緒にリサイクルしたい。使用済みのカイロも資源として回収して欲しい。
- ・ごみ出しについては、ステーションまで持って行かなければいけない所があるのに対して、個人で自宅前に置く人たちがどんどん増えているのが問題だと感じる。
- ・ごみ回収日にカラスに荒らされているのを、よく目撃する。大変不衛生なので荒らされないごみ箱などの対応をして頂きたい。
- ・外国人がたくさん住むようになり、ごみのポイ捨ても多い。ごみ出しルールを守らず、市街が汚れていくのを見ていられない。外国人もルールを守ってほしい。どんどん住みにくい街になっている。
- ・近所でもごみ分別を全くしていない、減量させようという意識が全くないであろう家庭が多いように思う。高齢者家庭への啓発活動が必要に思う。紙だけでなくプラ製品などを庭先や畑で燃やしている人が少くない。

【その他】

- ・企業に、環境意識を高めて欲しい。
- ・これだけ暑い日が続くと、熱中症対策でクーラをつけざるをえない。地球温暖化がすすむばかり、個人の努力には、限界がある。
- ・何をもって環境への取り組みとするのか、何を目指しているのかが壮大すぎて、結局何もできていない。身近なことに多くの思いが集約される未来像を明示できれば目標となって進むことができるかもしれない。
- ・小学生対象の「長良川をきれいにしましょう」程度の活動しか思いつかない。もっと根源的なことを大人にも子供にもアピールする環境への取り組みが必要。環境に意識が向くにはもっと生活のゆとりが必要で、生活に汲々としていれば環境どころではない。多角的なビジョンがないと一過性のお題目だけで終わると思う。
- ・新たな取り組みと・維持管理を両輪として、たとえば町内会など地域住民が気軽に参加できる日々の小さな活動が大きな力に繋がると感じる。地域掲示板の無料設置で情報の共有、認知拡大を望む。

7 今後に向けて

- ・市内経済に関する意識、実態調査について（問 1～問 11）

経済部では、「岐阜市農業振興ビジョン」及び「岐阜市産業振興ビジョン」に基づき、農業と産業のそれぞれの分野において各種施策に取り組んでいます。

来年度には、農業分野と産業分野の 2 つのビジョンを 1 本化した、新たなビジョンの策定を予定しております。今回の調査結果を踏まえ、新たなビジョンでは、持続的な農業の発展や経済成長の基盤となる企業立地・スタートアップ支援、ワークダイバーシティのさらなる推進など、農・商・工業を包括し、さらには分野を越えて連携を図る、本市の将来を見据えた経済振興の新たな基本方針を示してまいります。

今後も農業・産業振興により選ばれるまちを目指し、さらなる市内経済の振興に努めてまいります。

- ・環境に関する意識調査について（問 1～問 6）

環境部では、「岐阜市環境基本条例」に掲げる基本理念と基本原則のもと、同条例第 9 条に規定する環境の保全及び創出に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「岐阜市環境基本計画」を策定しています。同計画は、本市の環境分野の個別計画の方向性や施策を横断的にとりまとめたものであり、本市の中長期的な環境ビジョンとして、総合的に施策を展開しています。平成 10 年 3 月の策定以来、改定を重ね、現在は令和 5 年 3 月に改定した第 5 次環境基本計画に基づき、目指すべき環境都市像である「環境と調和する、人にやさしい都市岐阜」の実現に向けて、重点目標に「脱炭素化の促進」、これを支え、相互に関連する目標として「循環型社会の構築」「自然環境の保全」「生活環境の確保」、横断的項目として「環境教育・市民協働の推進」の 5 つの目標を掲げ、これに対応した 5 つの施策を設定し、取り組みを進めています。

「岐阜市の環境（質問 1）」について、「自然豊か」とのイメージを持つと回答された割合は全体の 77%であり、市を代表する緑豊かな金華山や清流長良川などの豊かな自然を次代に引き継ぐためにも、特に子どもたちへの環境教育が重要であり、これに関連する様々なご意見をいただきました。さらに、「岐阜市の【環境への取り組み】（質問 6）」についてよく分かっていないとのご意見も多数いただき、周知が十分でないことを実感しました。

調査の結果を受けて、引き続き各分野における取り組みを推進するとともに、今後さらに環境教育や周知啓発に力を入れ、市民一人ひとりが、日常生活や社会経済活動において、環境負荷の少ない、持続可能な社会を構築するための行動を実践できるよう、意識啓発を図ってまいります。

お問い合わせ先

経済部 経済政策課

TEL：058-265-3896／MAIL：keizai-sei@city.gifu.gifu.jp

環境部 環境政策課

TEL：058-214-2175／MAIL：kankyo-sei@city.gifu.gifu.jp